

大会規則

- 1 本大会は、2024年度公認野球規則並びに競技者必携に定める事項、及び以下本大会のために特別に定めた事項を適用して実施する。
- 2 試合は、6回戦としイニングに関わらず90分を超えて新しいイニングに入らない。
- 3 4回終了後得点差が10点以上、5回終了後得点差が7点以上及び日没・降雨など試合継続が不可能と判断した場合は、コールドゲームを適用する。
- 4 規定回終了後に同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。ただし、優勝戦は勝敗が決するまでタイブレイク方式で延長戦を行うこととする。
- 5 指名打者ルールを使用することができる。ただし、二刀流選手を採用しない。
- 6 野球規則によるアピール権者は、監督のみとする。
- 7 ベンチは、抽選番号の若番が一塁側とする。ただし、優勝戦は準決勝戦第2試合の勝者が引き続き同じベンチを使用することとする。
- 8 ベンチに入れる人員は、次のとおりとする。
 - ① 予め登録された選手25名以内、監督1名、コーチ2名とする。
 - ② ①のほか、チーム責任者、マネージャー、スコアラーは各1名、熱中症対策として保護者2名までベンチに入ることができる。
- 9 選手、監督、コーチは同一のユニフォームを着用すること。背番号は、監督30番、コーチ29番・28番、選手0番から99番とし、主将は10番とする。ただし、合同チームのユニフォームは不揃いでもよいが、背番号は重複しないこと。
- 10 試合前のノック時間は5分間とする。ただし、試合時間によってはシートノックを中止することがある。
- 11 球場内の打撃練習は禁止とする。
- 12 投手の投球回数は、1日70球を限度とする。ただし、4年生以下は1日60球とする。
- 13 捕手は、必ず公認マスク（SGマーク付き）、レガース、プロテクター、捕手用ヘルメット、ファウルカップを着用すること。
- 14 投手の投球練習中、捕手（控えの捕手を含む。）はすべての防具を着用すること。
- 15 打者、次打者、走者、ベースコーチは、必ず公認の両耳付ヘルメットを使用すること。
- 16 各回の先頭打者は、投手の準備投球が完了するまで、次打者席で待機すること。投手交代の際も同様とする。
- 17 金属バットは、公認されたものに限り使用することを認める。
- 18 金属製スパイクは禁止する。（スパイク裏ゴムまたは運動靴を使用すること。）
- 19 素振りリングの持ち込みを禁止する。
- 20 大会中に発生した事故は、参加者の責任において処理すること。応急手当のみ主催者が行う。
- 21 各会場の球場特別規則は、各球場責任者、試合当日大会役員と大会審判員が協議して定める。